

第 287 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

日 時 平成 25 年 1 月 8 日 (火) 16:00～18:00

場 所 静岡エフエム放送本社会議室

番組聴取合評 [番組名] K MIX CAMEL POCKET
[放送日時] 平成 24 年 12 月 20 日(木) 9:30～12:55
[出演者] 南真世

出席者 [委員] 委員長 満井義政
副委員長 出口泰規
委員 角田哲康

[会社] 代表取締役社長 祐嶋繁一
取締役業務推進本部長兼営業推進部長 竹内照夫
放送本部長兼編成制作部長 久保田克敏
編成制作部副部長 寺田和史

事務局報告

- 2013 年 4 月、開局 30 周年にあたっての編成新コンセプト、キャッチコピー、ステーション・ロゴ、番組編成概要について
- マルチメディア放送開始に向けてのスケジュール概要と対応について
- 2013 年放送事業免許の更新について

番組審議

[対象番組] K MIX CAMEL POCKET

[放送日時] 平成 24 年 12 月 20 日(木) 9:30～12:55

[番組内容] 月～金の午前から昼にかけての生ワイドプログラム。南は 2011 年 4 月から担当。今回はデータや情報紹介をベースにしたコーナー「SAY SAY SAY」と、インタビューコーナー「カフェ・キャラメル・ミルク」の 2 コーナーを試聴し、南のトークの質について意見を求めた。

[聴取・合評での主な意見]

- 選曲も含めて爽やかさ、元気さがあってよい。
- 明るく天真爛漫な感じはするので、もっとリラックスして、しゃべればよいと思う。
- ひとりしゃべりは南さんのキャラクターにあまりあっていない。

- ボケとツッコミということ言えばツッコミのタイプで、自分からしゃべることを決めてどんどん言っていくタイプ
- 若さが欠けている。
- 自分が番組外で経験したことを、自分の言葉で自由にしゃべればおもしろくなる。
- 一所懸命しゃべろうとするのはわかるが、聴いているほうが疲れる。
- インタビューは成り行きに任せて進んでいる感じがして、緊張感がない。
- 「SAY SAY SAY」のコーナーで、どうデータや数字を説明するかが大切だ。数字だけを羅列してもリスナーには伝わらない。そのデータの背後に見え隠れしているものや具体例を取り上げてくれるとよい。
- 原稿とフリートークの差が無さ過ぎる。
- この番組に限ったことではないが、パーソナリティがどこまで生活者であるリスナーと共に話ができるか、生活観を共有できるかが大切。マスメディアの中でパーソナリティの仕事をしているだけでは、その共有がしにくい。生活の視点の持ち方が重要だ。

[会社サイド]

前回（第 286 回）は、パーソナリティトーク、内容の盛り込みすぎなどについてご意見をいただきました。番組制作者のみならず、スポンサーである藤枝市にもいただいた伝え、今後の番組制作の参考とさせていただきます。今回（第 287 回）ご指摘いただきました点につきましても、今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

以上